

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

秋吉台 梅雨明けの夏空 時々土砂降り

梅雨は明けたようですが、晴れていても時折急な雷雨があるなど不安定な天候が続きました。最近シトシトピッチャンの雨が長く続くのではなく、短時間にバケツをひっくり返したような土砂降りという感じです。秋吉台は恵みの雨とあってか草原の草丈が急に伸びたように思えます。去年の同時期よりも草深いかも知れません。などと思いながら草原を歩くと、爽やかな緑風が心地よく吹きぬけます。が、一瞬それが止むとムツとした蒸し暑さに汗がふき出すようです。まだ7月です。8月の猛暑、残暑を覚悟しておきます。



季節の花 それぞれの場所で育っています

ニガクサ 湿気の多い道路沿いや用水路などのちかくに生えるシソ科の多年草。ピンク色の小さな花を下から順に咲かせます。たまに大群落をつくっていることもあります。

ホンゴウソウ 林内の腐葉土の多いところに生える腐生植物。全体に小さく草丈は5cmほどです。茎、花ともに暗紫色で、薄暗い林内などではよく目を凝らして探さないとなかなか見つかりません。

アキノタムラソウ 草原や林縁などに生えるシソ科の多年草。花は淡紫色が多いのですが、まれに白花種に出会うことがあります。小さな花が輪生して下から数段に咲きます。アキと付いていますが、6月ころから晩秋までどこかで見かけます。



観察会「森の昆虫教室・クワガタムシ」(7月15日)

観察会「森の昆虫教室・クワガタムシ」編を行いました。朝から雨でしたが、説明の後、エコフィールドをまわって昆虫観察。参加者はレインコート着用や傘をさして解説を聞きました。昆虫たちも雨の中で活動していました。野外での観察が終わると再びレクチャールームに戻って、クワガタムシの育て方を学び、角田先生から山口県産のヒラタクワガタのオス・メスのペアがプレゼントされました。容器から取り出して見るヒラタクワガタに、子供たちはちょっと興奮、大喜びでした。



オニユリ(鬼百合) ムカゴから 育ててビックリ! レモン色

エコ・ミュージアムの生垣から毎年花が咲いているオニユリのムカゴを採って、何年で咲くのだろうと植えて育ててみました。最初の年は細い葉が1枚だけ。次の年からそれらしい株に成長して、4年目にして初めて開花しました。ところが、その中の1株に咲いた花はオレンジ色ではなくレモン色でした。突然変異かもしれませんが、このムカゴを植えて4年後を楽しみに、また取りあえず来年に期待したいものです。



帰水一時湖出現

今年はちょっと小さいかも...

大雨の時に帰水に一時的に水が溜り湖が出来ます。これを「一時湖」といいます。それが7月1日と11日、出現しました。2回とも去年と同じころに出来ましたが、今年は少し小さいように思えます。カルストロードの路側帯から一時湖の方をのぞくと轟々(ごうごう)と音が聞こえます。水は谷底の小さな川から噴出しているだけではありません。カルストロード側の斜面からも噴き出しているのです。



10月の行事

- 10月19日(土) 観察会「秋吉台の化石」
秋吉台の化石を観察しながら秋吉台の成り立ちを学びます。
- 10月26日(土) 花の観察「花盗人の花日記」
秋吉台を散策してムラサキセンブリなどの秋のはなを楽しみましょう。